

レッスン基本方針

2017年8月1日 改定
わかぎミュージックサロン
富樫 誠

- レッソンの目標
ドラムを通じて、音楽をより楽しめるようになること
音楽全体の知識、技術、意識を高め
現場で対応できる能力を取得すること

- 目標達成への方法
個性の把握、過度な矯正の禁止
視野の広角化、楽器を通じたコミュニケーション能力強化
インサイドアウト視点に基づく、対応力の向上
基礎音楽力及びそれに伴う演奏スキル、テクニックの向上

- 基礎練習メニュー
音の聴き方、捉え方、イメージトレーニング、表現方法
歌い方、呼吸法、判断能力
楽譜読解、音楽理論
フレージング・アドリブ演奏

- 座学・講義
セッティング・チューニング・メンテナンス
他パートの知識、音楽理論

- 実践トレーニング
音の出し方、フォーム、グリップ、音色、ダイナミクス

- ドラム実技
他のスクール同様に、スティッキングやルーディメンツ
コンビネーション、リズムパターンなどの実技も行います。
また実技練習はやや難しく設定しています。
楽曲をよりリラックスして演奏する為に
実技は楽曲練習よりも難しくあるべき、と考えます。

- 課題曲選定について
好きな曲を課題曲に選べます。
難しすぎる部分があれば、ある程度手直しします。

- 課題曲選定基準
明らかに技量不一致な曲は課題曲の対象から除外します。
嘘・ハッターリ・手抜き・その場しのぎのテクニック等の
レクチャーは一切致しません。